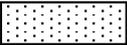


令和3年度 学校評価アンケート結果

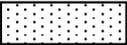
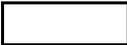
- 1 令和3年度保護者アンケート
令和2年度保護者アンケート（参考）
- 2 令和3年度生徒アンケート
- 3 令和2年度生徒アンケート（参考）
- 4 令和3年度職員アンケート
（今年度の重点目標）
- 5 令和2年度職員アンケート（参考）

評価基準及び凡例

保護者・生徒アンケート

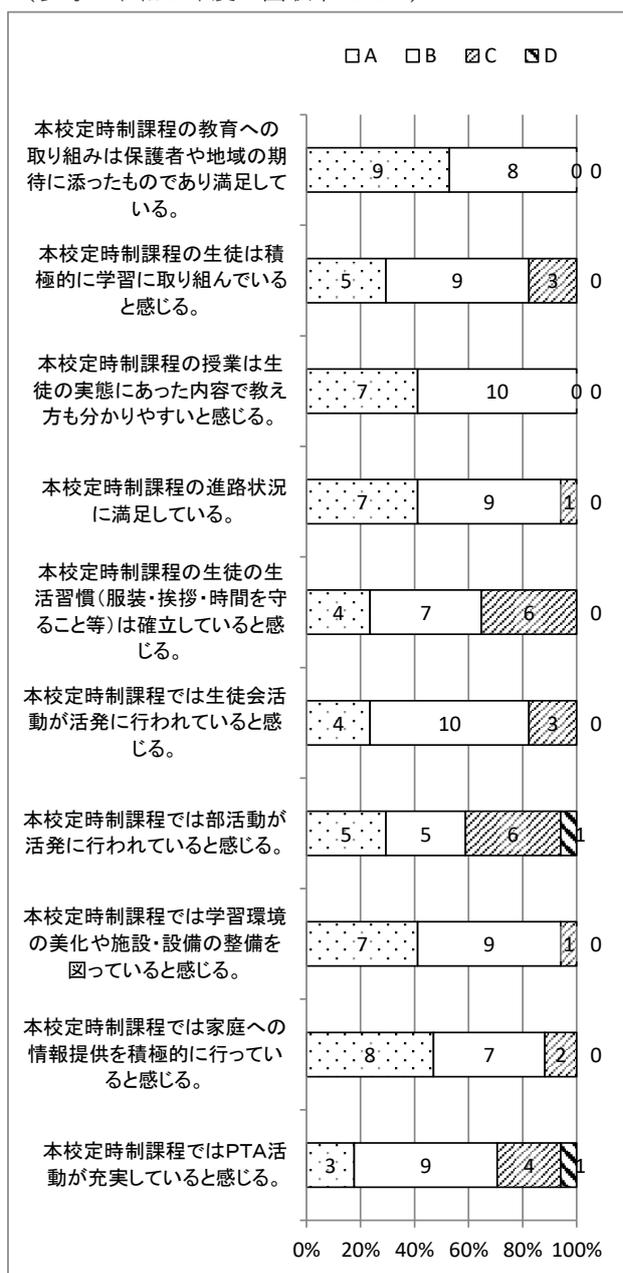
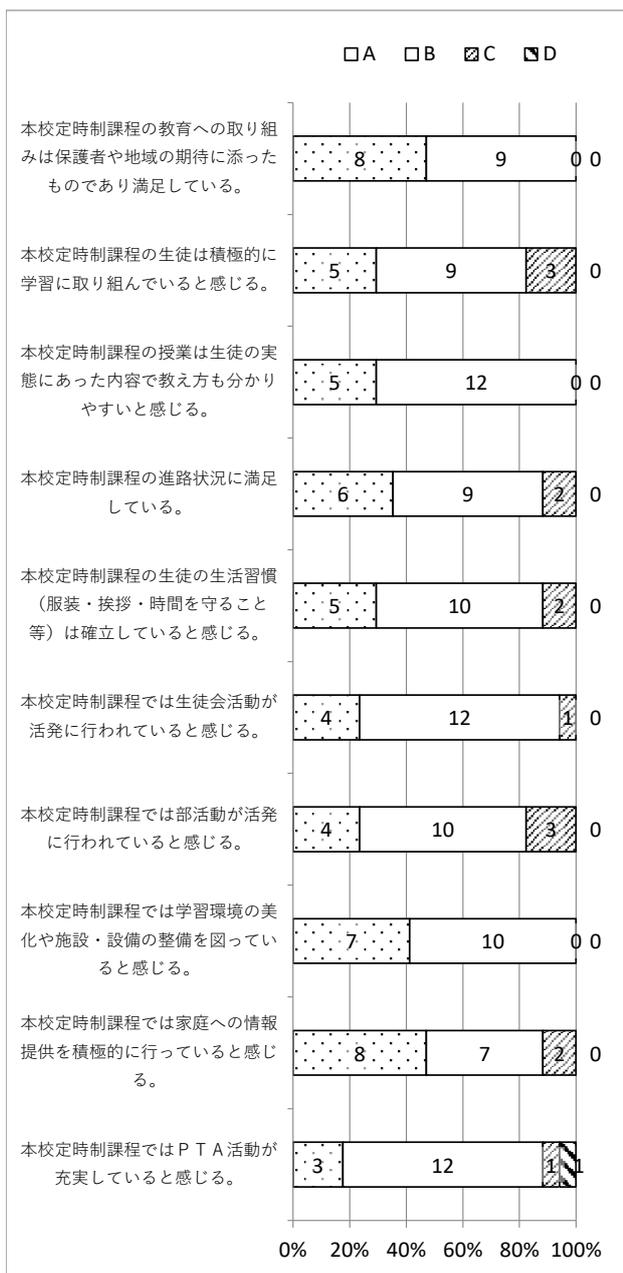
- | | |
|---|--------------|
|  | A よく当てはまる |
|  | B やや当てはまる |
|  | C あまり当てはまらない |
|  | D 全く当てはまらない |

職員アンケート

- | | |
|---|---------|
|  | A 達成 |
|  | B ほぼ達成 |
|  | C やや不十分 |
|  | D 不十分 |

1 令和3年度 保護者アンケート 令和4年1月実施 回収率94.4%

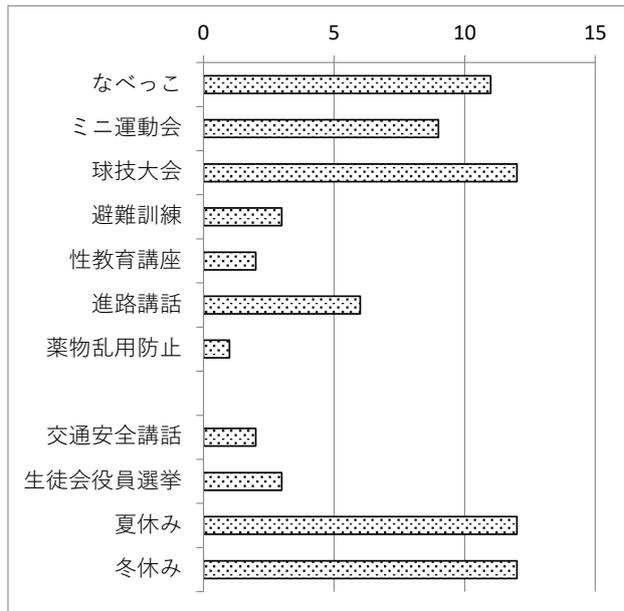
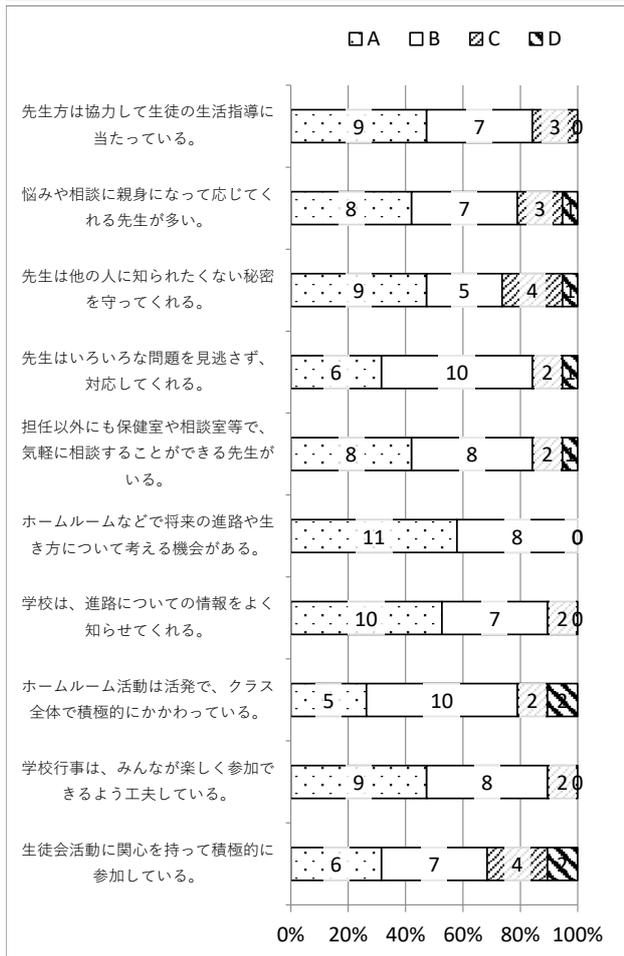
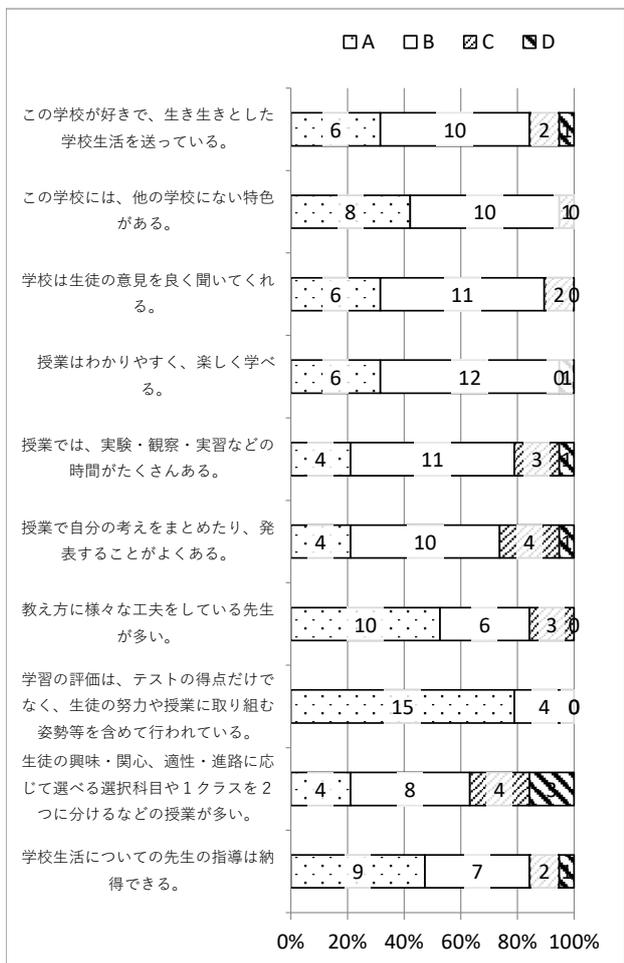
(参考 令和2年度 回収率89.5%)



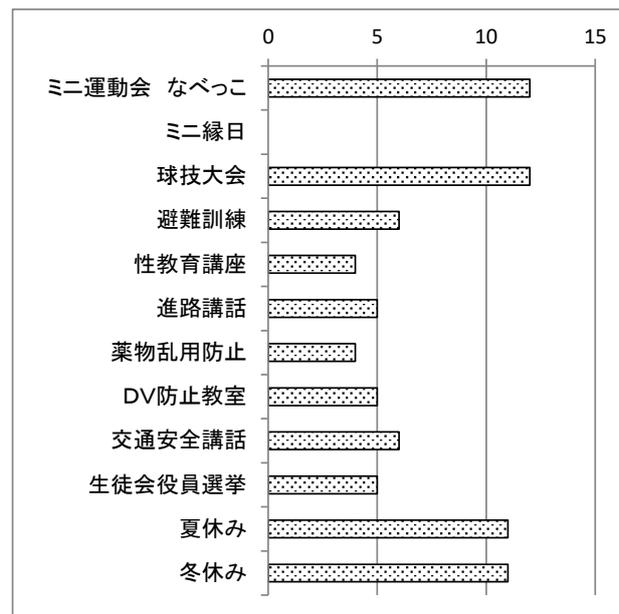
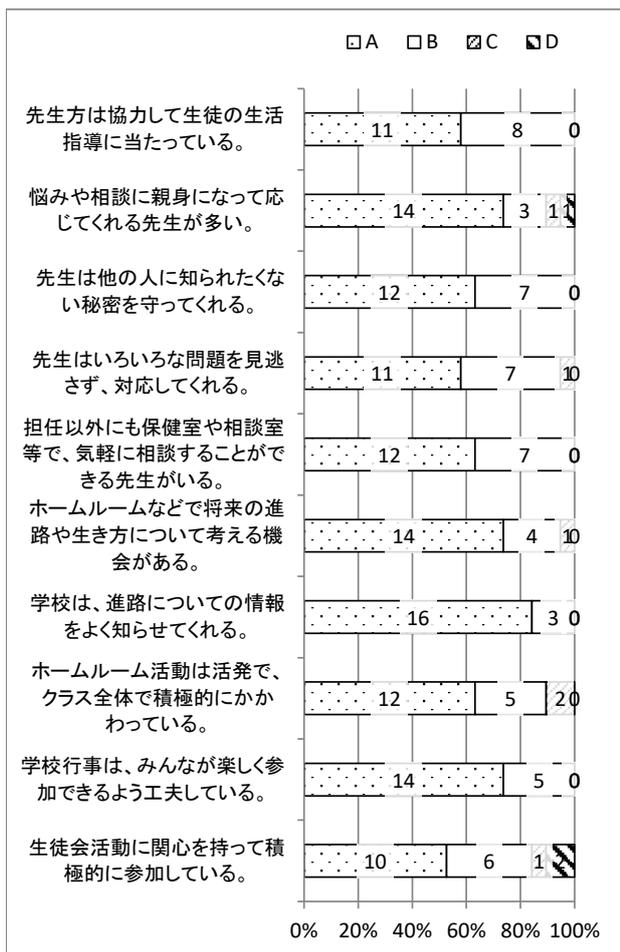
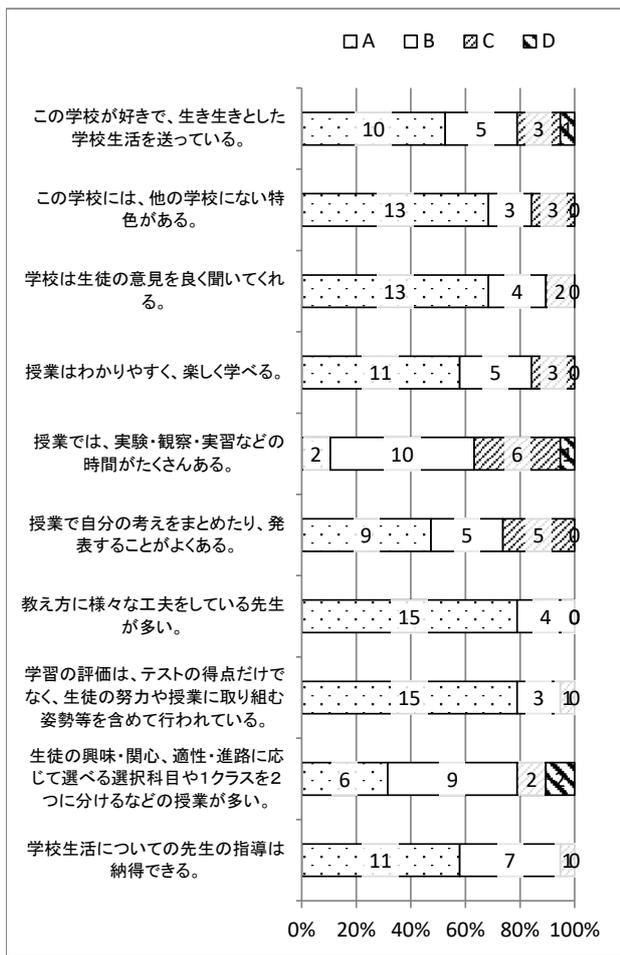
自由記述

- ・いつもありがとうございます。卒業までよろしくお願いたします。
- ・3はPTAなど学校内の様子が見られないためよく分かりません。(テストの結果でなんとなく感じている)
- ・コロナ禍で大変ですが球技大会、なべっこや職場見学など普通の授業と違った活動があるといいなと思います。

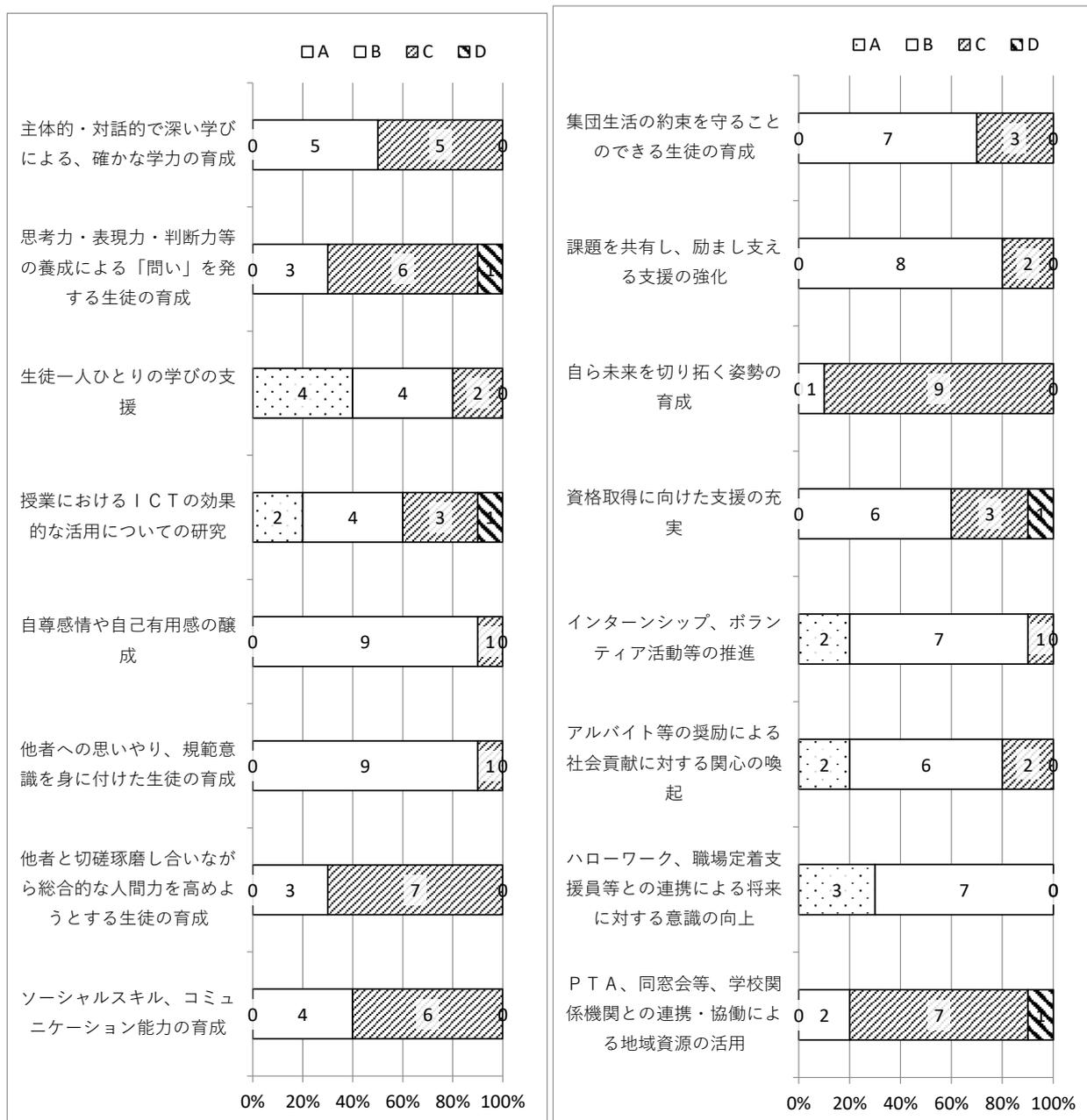
2 令和3年度 生徒アンケート 令和4年1月実施 回収率100%



3 令和2年度 生徒アンケート 回収率100%



4 令和3年度 職員アンケート 令和4年1月実施 回収率100%



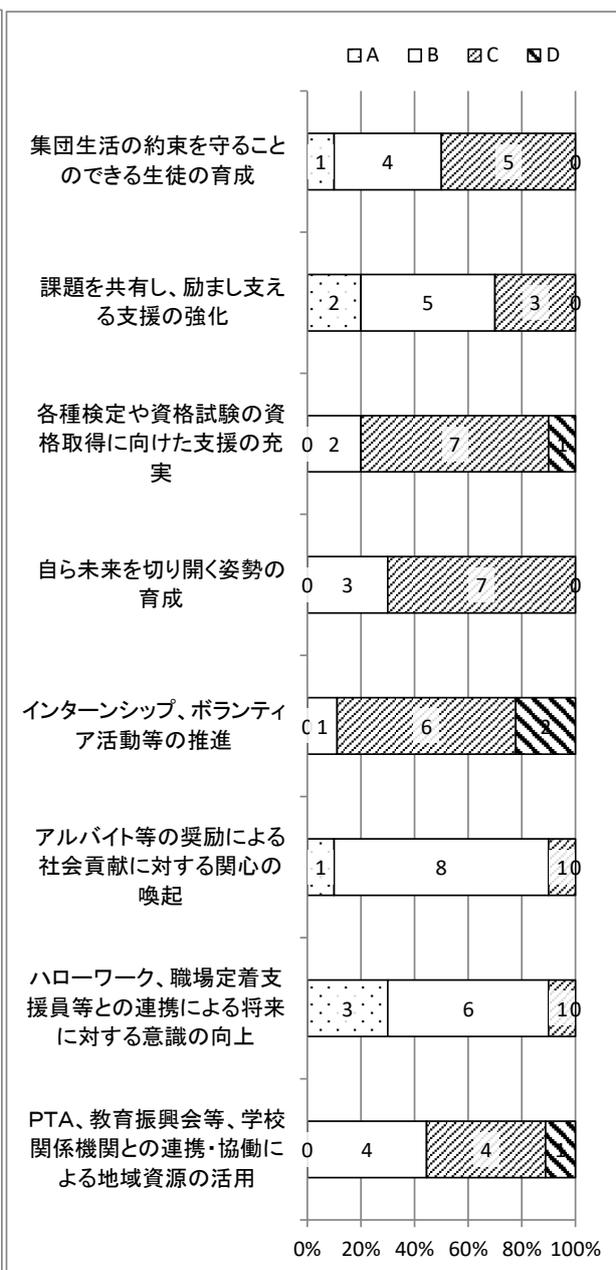
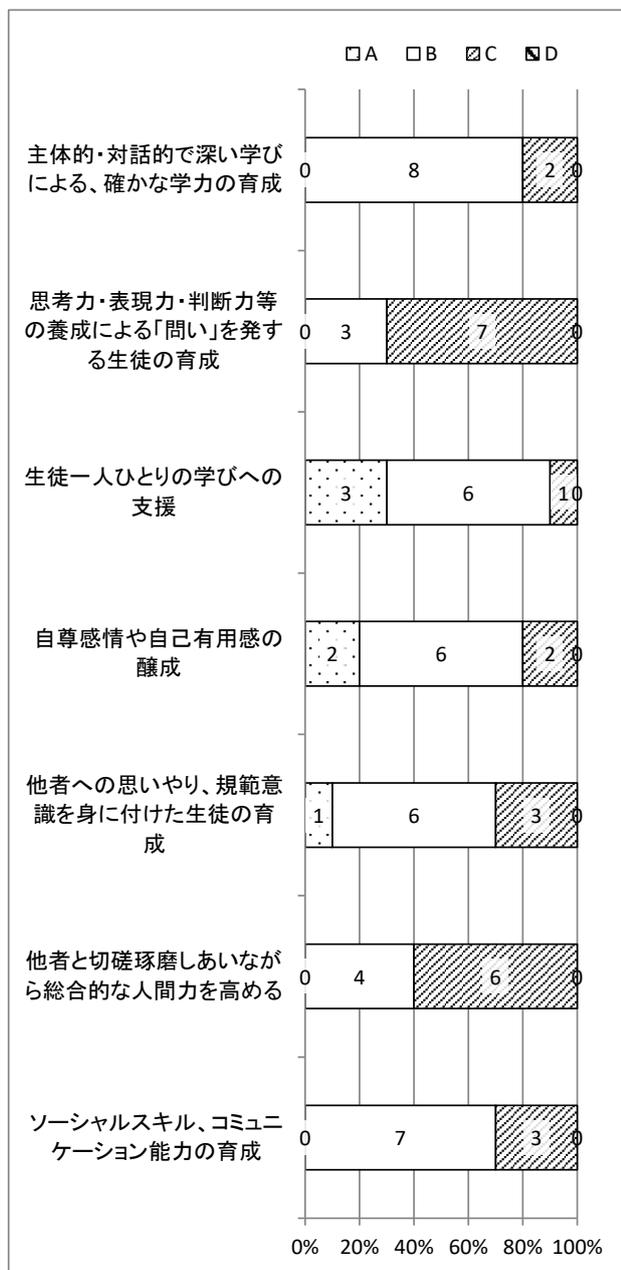
〈よかった点〉

- ・ 支援が必要な生徒として保護者に対してとても丁寧な対応をしていてよかったと思います。
- ・ 全学年一斉にコグトレを実施し、結果を共有することで現状と問題点を把握することができた。
- ・ インターンシップ担当を2年副担任とすることで、学年として事前・事後指導をすることが容易になった。
- ・ 授業において、昨年度より実験・観察を充実させることができた。
- ・ コロナということもあり、P T A、同窓会等とのつながりはあまりなかったものの、限られた中でキャリア教育的なことはできていたと思う。
- ・ インターンシップ担当として、企業（事業所）との連絡を小まめにとり、実施にあたった。その際、担任、義護教諭、職場定着支援員と連携、共通理解を図り取り組むことができた。
- ・ 特活がキャリア教育の主体となり、キャリアノートを活用したことで、アルバイト先訪問の面談で生徒に目標を意識させたこと。
- ・ ICTを活用した授業やアンケート調査などを先生方が取り組んだ。自分も活用するよう努力できた。
- ・ インターンシップや職場体験が実施できたことは、外部と関わりを持てたという意味で大きいことだったと思う。

〈改善点〉

- ・ コミュニケーションをとることが苦手な生徒が増え、協力する場面をつくらうとするのですが、なかなか思うようにいきません。今後、コミュニケーション力を育む視点が大切ではないかと感じた。
- ・ 行事の際、意図的に縦割りグループにすることで、他学年との交流が可能になった。しかし、効果は限定的で今後の継続実施により、さらに活発な交流となることを期待したい。
- ・ 生徒の自主性を育てたり、集団における自己の役割に気付かせたりするために、LHRや総学・総探の時間がもっと大事にされるべきだ。教師の話を一方向的に聞かせるのではなく、生徒が主役になるべきだと思う。
- ・ タブレットを使用する際には内容理解の前段階のタブレット操作で生徒間に差がある。生徒にとって有用な使い方を考えていくことが今後の課題である。
- ・ 他者と積極的に関わりをもとうとしながら物事を進めることができるようにする支援が必要である。
- ・ 基礎学力をつけることを重視したのはよかったが、主体的・対話的で深い学びや「問い」を発するような展開にはできなかった。
- ・ 中学校まで不登校という生徒が少なくない中で、他者との切磋琢磨やソーシャルスキル、コミュニケーション能力といった所までいくのは難しかった。それでも欠席が長引かずやってこられたのは良かったと思う。時間がかかると思われる。
- ・ 卒業予定者の進路達成できたのはよかったが、◎のeやdの取組までできていなかったように思われる。
- ・ 授業における生徒との関係（距離感、やりとりを含めての話し方）を適切にすることが出来なかった。
- ・ 授業で扱う内容について模索が続き、一貫性のあるものに出来なかった。
- ・ 分掌の仕事について、見直しをもっての対応をすることが難しく、主任に負担をかけてしまった。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったが、地域資源の活用については不十分だった。新しい方法をさがりたい。
- ・ 支援が必要な生徒の進路指導は学ぶことができたが、進路以前に在学中の支援が課題。テスト、単位、個別の指導、校内支援体制など課題が多い。
- ・ 人との関わり方を学ぶべき生徒ほど、その機会を設定すると欠席する傾向があるようなので、特別な活動ではなく日常生活や授業の中で関わり合う場面を設定するかが課題になると感じた。

5 令和2年度 職員アンケート 回収率100%



(よかった点)
 全体的な職員との課題や情報の共有が生徒への多面的・多角的な指導につながった
 副担任の先生と連絡を密にすることで、きめ細かい指導ができ、一年間大きな問題もなかった
 保健部を中心としながら新型コロナウイルス感染防止に全体で取り組むことができた
 アルバイト先訪問でアルバイトの様子と学校の様子を共有し、指導に生かすことができた
 行事の企画を生徒に考えさせる等の生徒の自主性・社会性を身に付けさせるという取り組みはよかった
 規律や規則を何度も話し合ったことで、自らの行動の誤りを認め、反省し次の行動につなげようとする姿勢が見られた
 コロナ禍で行事が中止になったり、変更になったりしたが、特活部と生徒会を中心に新たな取り組みができた
 生徒の将来を見据え、保護者と連絡をとりながらEサポートとつながろうという動きがうまくいっている
 職場定着支援員が卒業予定者以外との面談やアルバイト探しの相談をしてくださり、働くことへの生徒の意識が高まっている
 代替行事が実施できたこと。生徒会を中心に全校で楽しむことができた。学年を越えて取り組めたこともソーシャルスキル・コミュニケーション能力の育成につながったと思う。
 若い先生方を中心に生徒がわかる授業を工夫し、楽しそうに学ぶ姿が見られた
 社会情勢が大きく変化し、やれることを探す一年だったので、年度当初に立てた目標をもとに評価するのは難しいように思いました。その中でもアルバイト先訪問とEサポートとの連携はよい取り組みだったと思います
 生徒一人ひとりへの学習の支援はうまくいっていると思います(成績の向上まではいきませんが)

(改善点)
 コロナ禍で十分な指導ができなかった
 検定の実施ができず、自己肯定感等の醸成を図ることができず残念であった
 もう少し保護者との関わりを深くしたり、生徒との信頼関係を築けるような行動・言動を心掛けたい
 規律を守る指導(髪の色、化粧、遅刻)
 情報の共有(ただし、後半は毎週の打合せで共有するようになって良かった)
 完全に規範意識をもたせるという点では不十分だった
 報連相や遅刻指導
 遅刻・欠席が多い生徒への指導が難しい。
 業務分担がうまくいっていない分掌がある。年度当初に業務分担を明確にし、定期的に分掌部会を開いて情報共有を図り、主任のみが分かっている状況を改善してほしい
 PTA・振興会との交流ができなかったため、行事や学校の様子が分かるような便りを発行したり、HPに掲載したりすればよかった
 挨拶、ルールを守るなどのソーシャルスキルについては、様々な場面で指導してきたが、まだ不十分な生徒が多く、今後も工夫した指導が必要
 資格取得に対して消極的な生徒が多く、チャレンジする意識を高めることができなかった
 インターンシップを実施できなかったことが残念です